

校報「にはやし」



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標

「夢をいだし、強くたくましく生きる子どもの育成」

平成30年10月29日 No.26

火災想定避難訓練を行いました。(10月26日)

10月26日(金)のお昼の時間、火災想定避難訓練を行いました。

子どもたちが班ごとの清掃に取り組んでいるお昼の時間、機械室に火災が起きたことを想定して、避難を開始しました。

この日の避難訓練には能代消防署の方も来校され、避難の様子を見て、指導してくださいました。

学級ではなく、縦割り班での活動中の避難でした。どの班も、落ち着いて、避難行動ができていました。

一番早い班で1分ほどでグラウンドに到着し、全体で1分35秒で避難完了しました。とても立派にできました。



【落ち着いてグラウンドに避難することができました】

私からは、避難の際の「おはしもて」※の確認を話しました。子どもたちはしっかりと聞いておりました。

※ おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない、ていがくねんゆうせん

今回は、避難の後、消防署の方から消火器の使い方を教えていただきました。各学年の代表の子どもが体験しました。とても上手に使えていました。

最後に消防署の方からお話していただきました。

- 災害が起きたときには、静かに落ち着いて先生の指示を聞くこと
- 火事が起きたときに覚えておきたい三つのこと
 - ・速く知らせる
 - ・速く消す
 - ・速く逃げる
- 火事の時には煙が一番怖い。逃げる際には低い姿勢で、壁伝いに逃げる。

子どもたちは一生懸命に聞いていて立派でした。お家でも、火災等の災害の避難について、お子さんと話題にして話し合ってみてくだされば、幸いです。



【消防署の方のご指導のもと、消火器の使い方を学ぶ子どもたち】

能代市教育委員会学校訪問（10月23日）

10月23日（火）は能代市教委員会より教育長様を始め、4名の皆様が学校訪問されました。全クラスの授業の様子を参観されました。

教育委員会の皆様より、授業に取り組む様子から、子どもたちの頑張り、成長を誉めていただきました。また、多くのご助言もいただきました。子どもたちの更なる「一歩前」を目指して、これからも全職員で努力していききたいと思います。



【お客様が参観する中、勉強に集中して取り組む子どもたち】

11月1日は「あきた教育の日」

11月1日は「あきた教育の日」です。これは、秋田県発展の原動力は「人」であり、「人」は財産と捉え、県民一人ひとりが教育に関心をもち、学校・地域・企業などが連携・協力しながら子どもたちを育て、県内外で秋田の発展を支える「人」となることを願い、設定されたものです。県内では10月から11月にかけて、教育に関する様々な行事やイベントが開催されます。

本校では、先に学校報等でもご紹介しておりますが、10月に地域の皆様の協力を得ながら、ふるさとが学びのフィールドということで、農業体験活動を行い、学習発表会等で成果を発表しました。

これからも皆さんと共に、朴瀬小学校の子どもたちが秋田の発展を支える「人」となることを願い、取り組んでいきたいと思ひます。



読書に取り組みましょう「読書がんばり期間」（11月1日～16日）

本を読むことで、学ぶことがたくさんあります。

多くの登場人物や著者の考え、気持ちにふれることができます。

行ったことのない場所を紹介してくれることもあれば、知らなかった様々な知識を与えてくれることもあります。こうして、読書を通して、頭と心が成長していきます。

とても大切な読書なのですが、文科省の調査では、不読率（1ヶ月に読んだ本の冊数が0）の割合が、小学校では10%未満、中学校は10%～20%、高校生で、30～40%と学年が上がっていくにつれて、本を読まなくなっているそうです。また、小学校ではテレビやゲーム、中・高校生はネットの時間が長いと読書の時間も短くなっているそうです。

生涯に渡って読書に親しむようになるためには、小学生の読書の体験がとても大切になります。本校では11月、読書に力を入れていきます。テレビやゲームの時間をちょっと本を読むことに回していただき、少しでも多くの本にふれることができますようにご協力ください。

